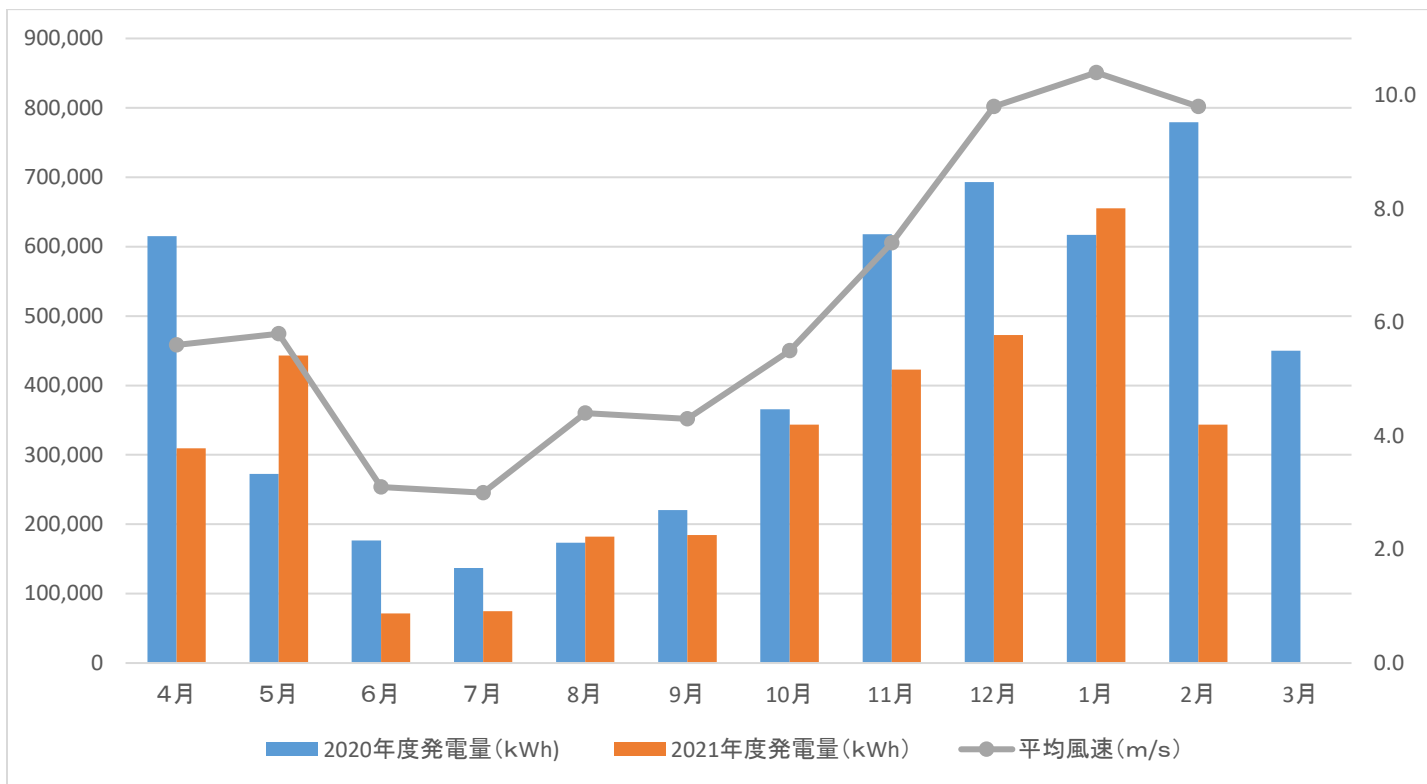


秋田県にかほ市に生活クラブ東京・神奈川・埼玉・千葉が建設した生活クラブ風車「夢風」に関するニュースをお届けします。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-6-9 大内ビル3F 一般社団法人グリーンファンド秋田

発行責任者 半澤彰浩(代表理事) 編集責任者 鈴木伸予

## ○ 2021 年度発電実績



## 2月度運転状況について

- 風況は前年に比べ0.6m/s 低くなりました。
  - 2月も増速機軸受け損傷の進行を抑えるため、監視の強化と風速を予測しながら度々風車の停止・起動を行いました。このため稼働率は65.5%と低くなりました。
  - 3/16 夜に発生した宮城県沖震度6強の地震を受け、3/17 現地点検をいたしました。点検の結果、異常の無いことを確認しました。
- \*\*\*\*\*  
 「由利海岸波除石垣」 (にかほ市金浦)



江戸時代に日本海の波浪や強風による塩害から農地と農作物、海岸沿いを走る北国街道を守るために築かれた石垣です。表面は30~50cmの自然石・内部は砂利という構造や、水抜き配置など、先人の知恵が随所に見られます。

	発電量 (kWh)	平均風速 (m/s)	稼働率 (%)
4月	309,276	5.6	92.4
5月	443,029	5.8	98.0
6月	71,255	3.1	99.0
7月	74,604	3.0	90.4
8月	182,051	4.4	62.5
9月	184,228	4.3	96.4
10月	343,577	5.5	97.1
11月	422,644	7.4	85.7
12月	472,533	9.8	74.5
1月	655,022	10.2	82.5
2月	343,590	9.8	63.3
3月			

## 生活クラブ風車「夢風」建設10年を迎えました

2012年3月20日より稼働した生活クラブ風車「夢風」は、2022年3月20日で稼働10年を迎えました。風力発電機の寿命は一般的に20年で設計されていますので、ちょうど折り返し地点となります。首都圏4単協より融資頂きました借入金も3月末に返済を終了します。

現在、増速機の交換工事の準備中です。次の10年は、これまで以上に丁寧なメンテナンスと運転管理をすすめていきます。

さて、10年の節目に、これまでの歩みを振り返ってみたいと思います。

- 2012年3月 稼働
- 4月 発電した電気を「グリーン電力証書」とセットで首都圏の生活クラブの41事業所へグリーン電力として供給開始。
- 5月 竣工式



左から3人目:「夢風」の名前を付けてくれた生徒、右から3人目:にかほ市の横山前市長

- 2013年8月 1周年記念式典



共同宣言。横山前にかほ市長、土谷東京前理事長、荻原神奈川前理事長、清水埼玉前理事長、木村千葉前理事長、半澤 GFA 代表理事

にかほ市と生活クラブ東京、神奈川、債玉、千葉、グリーンファンド秋田(GFA)による「地域間連携による持続可能な自然エネルギー社会に向けた共同宣言」を締結。

- 11月 共同宣言を具体化し実現するために「にかほ市と生活クラブ、GFA との連携推進協議会」設立。
- 11月 神奈川「東日本大震災復興支援まつり」参加。

- 2014年7月 にかほ市の生産者による「夢風ブランド開発生産者連絡会」設立。

- 8月 組合員リーダーツアー開催。  
(以降毎年開催)
- 10月 デポーにかほフェアを千葉単協で開催。  
(以降、東京、神奈川、千葉単協で毎年開催)
- 10月 事務局リーダー研修開催  
(以降毎年開催)
- 10月 埼玉40周年記念「LOVEフェス」参加



デポーにかほフェア:デポー園生でにかほの特産品をアピール



デポーにかほフェア:デポー浦安でにかほ市の中学生がにかほ市をアピール。

- 2015年5月 芹田営農組合で加工用トマトの実験栽培開始（3反）  
 8月 組合員リーダーツアー開催（ドキュメンタリー映画「おだやかな革命」撮影）



加工用トマトの収穫

＜夢風ブランド品の開発活動スタート＞

東京(伊藤製麺所・タラーメン)、神奈川(㈱飛良泉本舗・純米大吟醸夢風)、  
 埼玉(佐藤勘六商店・べっぴんさんいちじく)、  
 千葉(日南工業㈱・鱈しょつつる)

- 2016年2月 夢風ブランド開発活動発表会

6月 <4月、電力小売り自由化。㈱生活クラブエナジーを通じて、「夢風」で発電した電気を生活クラブ組合員への売電開始>

- 11月 千葉40周年記念「虹フェス」参加



- 2017年5月 夢風ブランド品（(有)三浦米太郎商店・はたはたおいる漬け）開発

- 7月 5周年記念式典



- 10月 平沢小学校へ出前事業実施。



平沢小6年生が見学

- 2018年2月 ドキュメンタリー映画「おだやかな革命」劇場上映スタート

- 6月 にかほ市に於いて「にかほ市自然エネルギーによる街づくり条例」制定

- 2019年5月 東京50周年記念フェスタ参加

- 7月 組合員リーダーツアー開催  
 芹田自治会とのバーベキュー交流会開催。



- 2020年1月 デポー担当者研修開催

- 3月 にかほ市に於いて「にかほの景観を育む条例」制定

- 10月 タラーメンのスープを再開発

- 2021年4月 にかほ市に於いて「陸上風力発電に係わるゾーニングマップ」公開

- 7月 組合員リーダーツアーをオンラインで開催

- 11月 芹田営農組合産米を原料とした「きりたんぼ」の共同購入開始

## デポーにかほフェア

2022年2月21日(月)～27日(日)に開催した、デポーにかほフェアの様子を写真でご紹介します。

各単協で工夫して、にかほの特産品と生活クラブでんきをアピールしました。



上段左: 東京・デポーせたがや  
上段右: 神奈川・つなしまデポー  
下段左: 埼玉・デポー所沢  
下段右: 千葉・デポー真砂

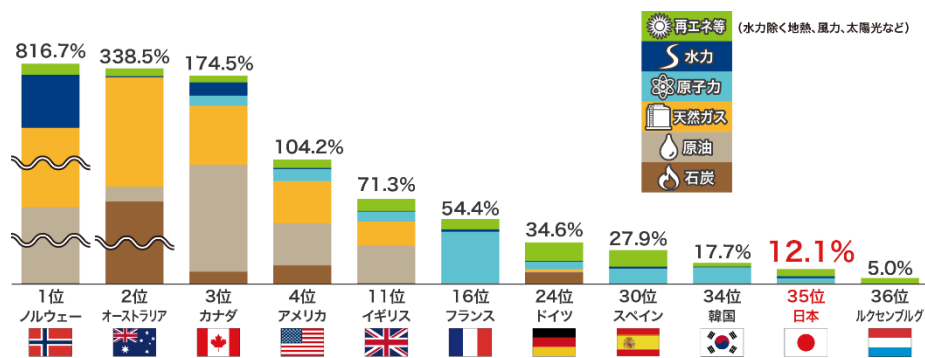
## コラム エネルギー自給

2022年2月末にロシアがウクライナに侵攻しました。先進諸国は経済制裁によって対抗していますが、ロシアは世界最大級の天然ガスと原油の輸出国であるため、世界のエネルギー需給への影響は甚大です。原油価格は、3月7日に2008年7月以来の高値となる1バレル=130.50ドルとなった、16日の終値は1バレル=95.04ドルまで下げたが、再度上昇する懸念はあります。エネルギー安全保障を高めるためにもエネルギー自給率を高めることは欠かせません。

日本のエネルギー自給率は2019年度で12.1%と世界でも非常に低くなっています。さらに、原子力に必要なウランも輸入なので、原子力を含めない自給率は約10%程度となります。

エネルギー自給率を高める最大の手段が、再生可能エネルギーの導入です。再生可能エネルギーは純国産であり、特に風力や太陽光は、化石燃料に比べて圧倒的に「偏在」しており、永久的に枯渇することがありません。さらに、2010年代以降は、風力発電機や太陽光パネルの価格低下が急速に進んでおり、経済的にももっとも安い電源になりつつあります。

化石燃料に乏しいが、再生可能エネルギーに恵まれている日本こそ、脱炭素はもとより、エネルギー安全保障の面からも再生可能エネルギーの導入を加速するべきです。



出典：IEA「World Energy Balances 2020」の2019年推計値、日本のみ資源エネルギー庁「総合エネルギー統計」の2019年度確報値。※表内の順位はOECD36カ国中の順位